

2014年度 立教SFR 国際会議助成成果報告書 (B)

1. 会議概要

会 議 名	和文	アジア諸国における医療ツーリズム：現状とその課題				
	欧文	Challenges of Medical Tourism in Asia				
主 催	立教大学 観光学部					
共 催	日本医療・病院管理学会					
後 援	国土交通省観光庁					
開催責任者	所属	立教大学 観光学部 交流文化学科				
	氏名	准教授	豊田三佳		印	
運営事務局	事務担当者	立教大学 観光学部				
	氏名	学科長	村上和夫			
開催期間	2014年 7月 18日 から 2014年 7月 19日まで					
開催場所	立教大学 新座キャンパス7号館(7/18) 池袋キャンパス太刀川記念館(7/19)					
参加者数※1	学内	6名				
	学外 国内から招聘	11名	海外から招聘	4名	4カ国	
	合計	17名	6カ国			
公開講演会等 参加者数※2	①	2014年 7月 18日	12名	6カ国		
	②	2014年 7月 19日	70名	6カ国		
開催日程		午前	午後	夜		
	第1日 7月 18日	11:00-: Medical tourism and national development	13:30-: Medical tourism as a service industry 15:30-: Reproductive travel and ethics			
	第2日 7月 19日		13:00-: 基調講演 Andrea WHITTAKER 14:15-: パネル発表			
※3	開催経費総額 (C)	予算額	1608 千円	執行額	1,098 千円	
	助成申請外資金総額 (B)	予算額	千円	執行額	千円	
	SFR助成額 (A)	予算額	1,608 千円	執行額	1,098 千円	

※1 参加者とは、会議において講演、パネラー、コメンテーター等の活動を伴う者をいう。

※2 一般公開された講演会等に聴講の為に参加した者。講演者、パネラー等は除く。参加者名簿を添付すること。

※3 (A)(B)(C)の金額は、様式5の金額と合わせる。

2. 開催趣旨概要

グローバル化に伴い、産業分野においても医療は新たなサービス財として注目されている。特に、アジア新興諸国において医療ツーリズムは、1998年のアジア通貨危機以降、第1陣（タイ、シンガポール、マレーシア、インド）の国々により推進されたのに続き、2007年の世界金融危機以降、第2陣（韓国、日本、台湾）も加わり、アジア圏内の医療ツーリストの移動は複雑化している。現代のグローバル社会において、どのように医師と患者の選択の自由を尊重しつつ、国内の公共のニーズを踏まえた医療ツーリズム・医療交流を進めていくことが可能なのかを議論することは、医療産業関係者のみならず、グローバル市民一人一人にも問われている重要な課題と思われる。アジア諸国において医療ツーリズムの調査、研究を行ってきた国内外からの研究者が集い、2日目には医療産業関係者、地方行政の担当官、医師、アカデミア、一般市民、学生の幅広い層の人々が参加できる公開講演とパネルディスカッションを設けた。

3. 国際会議の成果概要・今後の展望等

1日目は新座キャンパスにおいて、英語のみ（同時通訳なし）で、医療ツーリズムの研究者を対象に学際的な枠組みで、学術論文発表とアカデミックな議論が活発に行われた。2日目は池袋キャンパスの太刀川記念館において、2名の同時通訳者を設置し、研究成果を社会に広く還元することを目的に、公開講演会ではアジア地域の生殖ツーリズムに関して何が議論となっているのかを問い、その後、各国の医療ツーリズム政策に関する現状分析と課題を提示する発表が行われた。医療ツーリズムに関心をもつ医療産業関係者、地方行政の担当官、医師、一般市民、学生など幅広い層から両日で、70名ほどの参加者を得て、会場からの質疑応答も含めたディスカッションが続いた。

成果の一つは豊田三佳とMeghann Ormond共著の”Confronting economic precariousness through international retirement migration: Japan’s old-age ‘economic refugees’ and Germany’s exported grannies” in *New Horizons in Tourism and Leisure Mobilities* (forthcoming). もう一つの成果は、この国際会議の発表者である Andrew WHITTAKER と CHEE Heng Leng により、シンガポール国立大学にて、International Medical Travel and the Politics of Transnational Mobility という医療ツーリズムに関する学術的な国際会議(2015年8月26日-27日)の企画が進められていることである。アジア諸国の医療ツーリズムに焦点をあてた日本国内で最初の学術的な国際会議を立教大学で今回開催して、その意義が評価されたことを示しているといえよう。そして3つ目の成果は、この国際会議での議論の中からアジア諸国の医療ツーリズムの状況を理解するためには、中東アラブ諸国の医療ツーリズムへの動向に対する理解が不可欠であろうという認識が深まり、発表者の真野、小野、川端、豊田の4名は2015年1月にドバイで開催されたアラブヘルスに出向き、中東地域（オマーンを含む）において医療ツーリズム関係者にインタビューを行った。このように、立教大学で開催された国際会議は、医療ツーリズムに関わる研究者の国際的なネットワークを広げ、知見を発展させる大きなきっかけを提供した。

4. 会議の構成

(1) 学内参加者

氏名	所属・職名	会議における活動	内訳(学部・研究科)
豊田三佳 村上 和夫 稲垣 務 舩谷 鋭	観光学部 准教授 観光学部 学部長 観光学部 教授 観光学部 教授	開催責任者、発表者 2日目司会 1日目司会 2日目 コメンテーター	観光学部 4名 名 名 名
小口 孝司	現代心理学部 教授	1日目 コメンテーター	現代心理学部 1名 名
武田 珂代子	異文化コミュニケーション学部 教授	同時通訳者の紹介、助言	異文化コミュニケーション 1名 名 名
			その他 ()
			計 6名
変更内容(氏名、不参加/追加の別)			

(2) 学外参加者(国内、国外)

氏名	国名・所属・職名	会議における活動	内訳
ZHANG Yanxia	ブルネイ ブルネイ国立大学 講師	発表者	国名 人数 名
Timothy LEE	韓国 立命館アジア太平洋大学 教授 オランダ Waeningen 大学 准教授	発表者	日本 6 ブルネイ 1
Meghann ORMOND	マレーシア USM KANITA 客員教授 オーストラリア Monash 大学 准教授	発表者	韓国 1 オランダ 1
CHEE Heng Leng	多摩大学 所長	発表者	マレーシア 1
Andrea WHITTAKER	岡山大学 講師 国際基督教大学 上級准教授 東京大学 特任准教授	発表者	オーストラリア 1
真野 俊樹 小野 真由美 近藤正規 辻上 奈美恵 重松 伸司 川端 隆史	追手門学院大学 名誉教授 東京外国語大学 研究員	発表者 発表者 発表者 基調講演のコメンテーター パネル発表の司会 コメンテーター	計 6カ国 11名
変更内容(氏名、不参加/追加の別)			
不参加: 鳥居 高(明治大学)、清水 一史(九州大学)、Cai MARIANO(NUS)、柳 銀珠(Cha 医科学大学)			